

2020年2月北海道・標津研修会の様子が

新聞に掲載されました！

2020年2月22日(土) 釧路新聞

2020年(令和2年)2月22日(土曜日)

釧路新聞

# 釧路新聞

SENSHIN

根室版

## 標津の冬の魅力満喫

### 首都圏の留学生ら町内で研修

【標津】首都圏で学ぶ大学生や外国人留学生が20日から、研修で町を訪れている。一行は町内を中心に道東の文化や自然などを学んでいる。留学生支援や国際交流促進に取り組む共立国際交流奨学財団(東京)の主催で、町エコ・ツーリズム交流推進協議会が中心となって受け入れている。

今回はベトナムやインドネシア、台湾、中国などから訪れている16人が来町した。一行は町生涯学習センターで歓迎を受けた後、サイモン科学館を見学し、サケについて学習した。翌21日は郷土料理の芋餅作りにチャレンジし、羅臼町で流水を観察したりバードウォッチングなどを行った。



歓迎式で自己紹介する留学生

東京都新宿の日本語学校に通うグレイ・マドウさん(27)は「北海道に来るのは初めて。文化や料理に関わるのを楽しみにしていた」と笑顔を見せていた。一行は25日まで滞在し、標津の冬の魅力や自然を満喫する。(會田俊実)

レイアウト・西山 真



# 2020年2月北海道・標津研修会の様子が 新聞に掲載されました！

2020年2月27日(木) 釧路新聞

釧路新聞

2020年(令和2年)2月27日(木曜日)

## 釧路新聞

SENSHIN

根室版

### 留学生ら「思い出できた」

標津 研修旅行終了、お別れ式

【標津】首都圏で学ぶ大學生や外国人留學生を対象とした研修旅行が25日、全日程を終了した。同日は町生涯学習センターでお別れ式が行われ、留學生らが別れを惜しんだ。留學生の支

今回は20日に町を訪れ



お別れ式で関係者からの激励を受ける留學生ら

た。初日はベトナムやインドネシア、台湾、中国などの留學生ら16人が町のシンボルでもあるサケについてサーモン科学館で学んだ。21日には郷土料理の手餅作りにチャレンジしたほか、羅臼町で流水見学やバードウォッチングを行った。ホームステイ先の遊びや雪を使った遊びなどを通じ地元の人たちと交流した。

お別れ式で、筑波大学大学院生でウクライナ国籍の観光協会の市村政樹会長は「研修先に選んでくれてありがとう。機会があったらまた来てほしい」と話している」とあいさつ。町

(會田俊美)